

企業研究

学生×経営者



2020

4

神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ (神戸市東灘区)
木下 学社長 (51)

地元を選ばれるホテルに

神戸ベイシェラトンホテル&タワーズの戦略などを話す運営会社の木下学社長＝いずれも神戸市東灘区向洋町中2



神戸・六甲アイランドの中心部に立つ建物の外観



「にはまだまだ足りない」

―政府の観光支援事業も始まった。

「予防策を徹底して感染者を出さないことが重要。」

入れる対策だが、今後の宿泊客の満足度向上にもつながると考えている」

―今後の戦略は。

「国内の感染が収束して

―コロナ禍でホテル業界は大きな打撃を受けた。今の状況は。

「利用者が少しずつ回復している。主に近郊や地元に住む人が来てくれているが、関東や海外からの旅行客の落ち込みをカバーする

なる。コロナ禍を機に取り



エムラボ

親会社のホテルニューアワジが、米投資会社から神戸ベイシェラトンホテル&タワーズを取

得。運営会社の従業員は約350人。2019年12月期の売上高は31億円。20年春の採用は39人。神戸市東灘区向洋町中2の

モ

得。運営会社の従業員は約350人。2019年12月期の売上高は31億円。20年春の採用は39人。神戸市東灘区向洋町中2の

掘することに力を注がねばならない」

(まとめ・中村有沙)

神戸・六甲アイランドにそびえ立つシェラトンホテル。270の客室と八つのレストラン、二つの物販店を擁し、今年1月には、隣接する商業施設内にペット専用の宿泊施設を開業した。特色や新型コロナウイルスの影響などについて、運営会社ホテルニューアワジ神戸の木下学社長に聞いた。

―ホテルの強みは。

「『地元とともに』がキーワード。主に兵庫県内の農家から野菜を直接届けてもらい、レストランの料理に使ったり、ショップで販売したりして地産地消を進めている。地域の特色を生かしたホテルづくりが目標。自家源泉の天然温泉も大きな武器の一つだ」